

お知らせ 「だれでもプロジェクト —障害者週間 2015」

聴覚障害のある方も楽しめるタップダンス、視覚障害のある方とともに展示を見学するツアーを開催

にっぽんか がくみらいかん

日本科学未来館(略称:未来館 館長:毛利 衛)は、障害者週間(※1)にあわせ、「だれでもプロジェクト —障害者週間 2015」と題したイベントを開催します。

オリンピック・パラリンピックの開催まで5年をきり、さまざまなシーンで、施設などのハード面はもちろんソフト面でのバリアフリーの推進が必要になっています。また近年、障害のある方をケアするだけでなく、障害者を含む多様な人たちとコミュニケーションをとり、その視点をもち込むことで、新しい価値やイノベーションを生み出し社会を活性化するための取り組みも始まっています。

「だれでもプロジェクト(※2)」の一環として開催する本イベントでは、コミュニケーションをテーマに、聴覚障害のある方にも楽しめるタップダンスや視覚障害のある方とともに展示を見学するツアーを実施します。障害のある方とそうでない方が一体となり柔軟な視点を持つ体験ができる、たいへん貴重な機会となるでしょう。

ぜひ貴媒体にてご掲載、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

<詳細>

1. 体験イベント「からだタップ —からだで感じるタップダンス！」

開催日:2015年11月29日(日)、12月6日(日)

「聴こえない人にもタップダンスの楽しさを」という想いを実現するため開発された装置を使いタップダンスをおこないます。

2. 展示ツアー「みえる人とみえない人のミライカンパセーション —ロボットとわたし」

開催日:2015年12月5日(土)、6日(日)

視覚障害のある方をナビゲーターにお迎えし、見えるものを言葉にしながらロボットの展示を中心に常設展を見学します。

※1 障害者週間

12月3日(国際障害者デー)から12月9日(障害者の日)の期間。障害のある方への理解を深め、障害のある方が社会活動に参加する意欲を高めるためのさまざまな取り組みがおこなわれます。

※2 だれでもプロジェクト

第一線の研究者やクリエイターとの連携により、社会のさまざまな場面でのバリアフリー化を後押しする活動をおこなう日本科学未来館のプロジェクト。知識や創造性をもった専門家が垣根を越えて交流することにより、多様性を理解しあい豊かな社会に向かうきっかけをつくっていくのが、このプロジェクトのミッションです。

<同時開催>

NHKサイエンス スタジアム 2015 (12月5日(土)、6日(日)開催)

同時開催のイベント内で、障害者週間にあわせて「人にやさしい放送技術」の展示をおこないます。

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikanjst.go.jp	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 Email: press@miraikanjst.go.jp TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

1. 体験イベント「からだタップ ーからだで感じるタップダンス！ー」

「聴こえない人にも、タップダンスの楽しさを伝えたい」という想いを実現するため開発された「からだを通して鑑賞できる装置」。タップを踏むと客席の装置が振動し、聴覚に障害のある方でもタップダンサーとコミュニケーションをとることができます。手話タップダンサー『しゅわっぴ ring』が繰り出すタップを体感してください。

〈出演〉手話タップダンサー&パフォーマー『しゅわっぴ ring』

手話とタップの融合『手話タップ』を駆使し、どんな障害も関係なく一緒に楽しめるパフォーマンスをおこなうユニット。

■日時:2015年11月29日(日)、12月6日(日)
両日とも ①11:15-11:45、②13:15-13:45、③15:15-15:45

■会場:3階 常設展エントランス

■定員:各回30名 ■対象:どなたでも(手話通訳あり)

■参加費:無料 ■参加方法:当日受付(先着順)

■主催:日本科学未来館、JST ACCEL 身体性メディアプロジェクト、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科



しゅわっぴ ring

2. 展示ツアー「みえる人とみえない人のミライカンパセーション ーロボットとわたしー」

障害の有無にかかわらず多様な見方の人が集まり、言葉を交わしながら一緒に展示を見学するツアーです。今回は、視覚障害のある方をナビゲーターにお迎えし、見えるものを言葉にしながらかロボットの展示を中心に常設展をまわります。ロボットを見たとき、きっと一人ひとりに違った感想が生まれるでしょう。さまざまな視点を持ち寄ることで、一人では得ることのできない科学技術の見方を発見できるはずです。

■日時:2015年12月5日(土)、6日(日)
両日とも ①10:10~12:10 ②14:50~16:50

■会場:3階、5階 常設展

■対象:中学生以上

■定員:12月5日 各回8名、12月6日 各回16名

■参加費:無料 ■参加方法:WEBにて事前申し込み(応募多数の場合は抽選)

■主催:日本科学未来館、Google Field Trip Days、特定非営利活動法人スローレーベル

■共催:視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ

※本イベントは、子どもたちの科学への興味を育む Google Field Trip プログラムとして実施します。



ASIMO

〈同時開催〉

NHKサイエンス スタジアム 2015

同時開催の「NHKサイエンススタジアム2015(12月5日、6日)」では、さまざまな科学番組の体験コーナーやワークショップをおこなうほか、障害者週間にあわせ、手話アニメーションをコンピュータグラフィックスにより自動生成する技術や音声認識技術を用いたリアルタイム字幕制作に関する研究など、「人にやさしい放送技術」を展示します。

■日時:2015年12月5日(土)9:00~17:00、6日(日)10:00~17:00

■参加費:無料

■主催:NHK ■共催:日本科学未来館

NHKサイエンススタジアム2015

<http://www.miraikanjst.go.jp/event/1511041619041.html>



手話アニメーション